

腸管出血性大腸菌O157による 死亡者の発生について（第3報）

平成 24 年（2012 年）8 月 13 日（月）

照会先：札幌市保健所

感染症総合対策課

担当：^{たち} 館、^{ほそみ} 細海 電話 622-5173

- 1 本日、札幌市保健所に、「平成 24 年 8 月 11 日（土）に札幌市内の病院に入院した患者が、同日、腸管出血性大腸菌O157 により亡くなった。」との連絡があった。
- 2 亡くなった方は市内在住の 4 歳の女児で、6 日から腹痛、下痢等の症状を呈し、11 日から市内の病院に入院したが、同日、腸管出血性大腸菌感染症により亡くなった。また、病院が実施した検便検査の結果、腸管出血性大腸菌 O157 が 12 日に検出されている。
- 3 現在、札幌市内では、5 箇所の高齢者関連施設において下痢・血便・発熱などの症状を呈した有症者が集団発生しており、集団発生との関連も含め、札幌市保健所では、感染経路について調査を行う予定である。

患者、医療機関等の特定に係る情報の収集等につきましては、プライバシーの保護のため、提供資料の範囲内での報道をお願いいたします。

本件について、原因が判明した場合には、あらためて詳細をお知らせいたします。